

第12回 研究集会 本企画

## 「言語文化教育」とAIのかかわりを問う

■日時：2024年12月14日（土）10:30～16:00

12月15日（日）10:00～13:00

■会場 京都教育大学 藤森学舎（1日目C3教室、2日目をF13教室）

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access01/>

### ■企画の趣旨と概要：

ALCE では、ことばと文化の教育とは何か、ことばと文化の教育を研究するとはどういうことかを議論する場を提供しています。大量のテキストデータを機械に読み込ませ、その中から人間の言語がもっているパターンを見つけてことばを紡いでいる生成AIが我々の生活の中に浸透してきたことで、我々教育関係者にも、大きな影響が生まれています。そこで、ことば・文化・教育・社会にかかる「わたしたちの教育」は、AIをどう利用し、向き合っていくのでしょうか。

プレ企画（8月25日開催）では、茨城大学の笹井一人さんに、AI と人間の異なり、AI と教育の関わりについて話題提供をしていただきました。そして、AI 推奨、AI 受け入れ、AI に危機感を覚えるなど、「わたしたちの教育」に AI が+になりえたり、—になりえたりする場面を考え、AI と多様な向き合い方があることを、参加者の関わっている教育の実例を共有しながら議論しました。この議論を通して改めて浮かび上がってきた「人間にしかできない教育とは何なのか」、「私たち人間は教育とどのように向き合っていくのか」、「わたしたちの教育」と AI（とその特性）はどのように関わっていくのか」などの問い合わせを、AIを使うことの是非にとどまらず、そもそも「わたしたちの教育」とAIのかかわりを問うてみることが重要だと考えました。

そこで2024年度の研究集会では、プレ企画をさらに進め「言語文化教育」とAIのかかわりを問うために、“きっかけ”として、

- 1) 話題提供に基づくパネルディスカッション
- 2) 「わたしたちの教育」とAIのかかわりを通した参加者同士の交流
- 3) 口頭発表 を柱とする場をつくります。

企画の詳細については、順次学会Webサイト、facebook等でアナウンスしていきます。

### ■話題提供者 現在2名を予定しています。

茨城大学 教授 笹井 一人さん

京都教育大学教職キャリア高度化センター 講師 大久保紀一朗さん

■参加費：会員 2,000 円、非会員 4,000 円（募集人数 60 名）

参加費は、会員の皆さまは原則会費ペイとなります。非会員の皆さまは 11 月 27 日（月）までに所定の銀行口座へ振り込みをお願いします（事務局からの申込完了メールの送付時にご案内差し上げます）。

■「発表」申し込み（11/4（月）正午締切）

口頭発表：

一つの発表時間は合計 30 分で、その中で発表に対するディスカッションを行なっていただきます。発表のテーマ・内容や形式、時間配分は自由ですが、対話の時間を必ず入れてください。

応募資格：

言語文化教育研究学会の会員であること（共同発表の場合は、筆頭応募者か会員であること。未入会の場合は、応募 2 週間前までに入会手続きをお願いします）。

・一発表につき、「発表応募フォーム」からの申し込みが必要です。共同発表の場合は筆頭発表者の方にご投稿をお願いします。

・採択結果通知：11 月 18 日（予定）

「発表」申し込みは <https://forms.gle/2HmIQhRyRMtMLVsZ5> から



■「参加」申し込み（12 月 6 日（金）締切）

・「発表」申し込みをされた方も、お申し込みをお願いします。

・口頭発表の「共同発表者」の方も、お申し込みをお願いします。

「参加」申し込みは <https://forms.gle/MdVxy4TduLyLXh74A> から



■お問い合わせ：言語文化教育研究学会研究集会委員会

Email: [alce.kenkyusc@gmail.com](mailto:alce.kenkyusc@gmail.com)